中学歴史プリント（書き取り）
鎌倉時代 No.17

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／21

1. 13世紀初めにチンギス・ハンがモンゴル高原を中心に建て、後にフビライ・ハンが国号を元と改めた帝国を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 執権の北条泰時が御成敗式目を制定したのは何年？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 13世紀に国号を元と定め、二度にわたり日本へ侵攻を企てたモンゴル帝国の皇帝は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 鎌倉時代に新しい仏教の一派である「時宗」を開き、布教活動を行った僧侶を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 『東方見聞録』を記した、モンゴル帝国のフビライ＝ハンのもとを訪れたイタリアの旅行家は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 鎌倉時代に広まった仏教の新しい宗派の一つで、ひたすら座る修行を行うことを重視した宗派を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 鎌倉幕府が京都の監視や西国の統治を目的として設置した機関を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 鴨長明が活躍し、古典文学が発展した時期を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 平氏の栄枯盛衰を描き、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 承久の乱において、倒幕を狙って挙兵した上皇は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
21. 鎌倉時代、公領を所有し、朝廷に仕えて政治や文化を担った特権階級の人々を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「鎌倉時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.17 鎌倉時代

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	このモンゴル帝国は、東西の交通路を整備し、シルクロードを通じた交流を活発化させました。	モンゴル帝国	□
2	「踊り念仏」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。	踊り念仏	□
3	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。	金剛力士像	□
4	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける分割相続が一般的でした。	分割相続	□
5	この法律は、それまでの習慣を基礎とし、武士社会の道理に基づいて裁判を行うための基準を明確にしたものです。	1232	□
6	第5代皇帝フビライ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。	フビライ	□
7	一遍は浄土教の一派である時宗を開きました。	一遍	□
8	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。	栄西	□
9	マルコ・ポーロはヴェネツィア出身の商人であり、中央アジアを通って元の都（大都）へ渡り、フビライ＝ハンに仕えました。	マルコ・ポーロ	□
10	曹洞宗は、宋から帰国した道元が日本に伝えた宗派です。	曹洞宗	□
11	1221年に六波羅探題が置かれ、そこには北条氏の一族が就任しました。	六波羅探題	□
12	この時代には、戦乱の不安や厳しい生活環境を背景に、無常観を湛えた文学が発展しました。	鎌倉時代	□
13	「御恩」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。	御恩	□
14	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。	困窮	□
15	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。	地頭	□
16	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。	方丈記	□
17	『平家物語』は、平氏一族の栄華から壇ノ浦での滅亡までを描いた文学作品です。	平家物語	□
18	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、全国の武士に呼びかけて幕府打倒を試みました。	後鳥羽上皇	□
19	主従関係とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。	主従関係	□
20	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「三大随筆」と呼びます。	三大随筆	□
21	貴族は、朝廷の官職に就くことで権力を持ち、経済基盤として荘園を経営していました。	貴族	□

言えなかった用語ノート

いちごドリル プリント